

レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和4年10月14日	使用開始日																																
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	小林照之																															
レジメン名	オブジーボ(2週毎)+FP(食道がん)																																	
疾患名	食道がん	適応の備考																																
適応分類	根治切除不能 進行・再発																																	
1コース日数	28	日間 総コース数	コース 催吐性リスク day1高度、day2~6最小度、day15最小度																															
抗がん剤投与量・投与日 オブジーボ 240mg/body day1、day15、シスプラチン80mg/m ² day1、5-FU 800mg/m ² /日 day1-5																																		
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)																																		
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		
1	側管1 点滴静注	フィジオ140輸液500mL	3 本 / body	4 時間	●																													
		4時間以上かけて投与																																
2	主ルート 点滴静注	生食50mL	1 本 / body	5 分	●															●														
3	主ルート 点滴静注	生食100mL オブジーボ	1 本 / body 240 mg / body	30 分	●															●														
																					●													
4	主ルート 点滴静注	生食50mL	1 本 / body	5 分	●					●										●														
5	側管1 点滴静注	生食250mL ホスアプレビタント注150mg	1 本 / body 1 本 / body	30 分	●																													
6	側管1 点滴静注	ハロセトン注ハック0.75mg50mL デキサート注射液6.6mg/2ml デキサート注射液1.65mg/0.5mL	1 本 / body 1 本 / body 2 本 / body	30 分	●																													
7	主ルート 点滴静注	生食500mL シスプラチン	1 本 / body 80 mg / m ²	2 時間	●																													
		シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する(合計500mLとする)																																
8	側管2 点滴静注	生食500mL フロセミド注 20mg	1 本 / body 1 A / body	2 時間	●																													
9	主ルート 点滴静注	生食500mL 5-FU	1 本 / body 400 mg / m ²	12 時間	●	●	●	●	●	●																								
10	側管2 点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	2 時間	●																													
11	主ルート 点滴静注	生食500mL 5-FU	1 本 / body 400 mg / m ²	12 時間	●	●	●	●	●																									
12	側管1 点滴静注	生食100mL デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body 1 本 / body	30 分	●					●																								
13	側管1 点滴静注	生食100mL デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body 2 本 / body	30 分	●					●	●																							

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例: Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

- シスプラチン: 希釈は生食のみ。
- シスプラチン: 腎毒性軽減のためhydrationが必要。
- ホスアプレビタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ホスアプレビタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- ホスアプレビタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
- オブジーボ: 0.22または0.2μmのインラインフィルターを使用して投与する。
- オブジーボ: 希釈後の総液量は60mL以上を目安とする。体重30kg以上の場合、生食100mL、体重30kg未満の場合、生食50mLに希釈する。
- オブジーボ: 希釈後の最終濃度0.35mg/mL未満では、点滴溶液中の安定性が確認されていない。